

戦 評 用 紙

新人戦・関東・インターハイ・ウインターカップ 県予選会

平成 2 6 年 1 月 1 8 日

会 場 上尾運動公園体育館

A コート 第 1 試合

対 戦	1 2	_____	5	
	1 6	_____	2 0	
埼玉栄 高校	6 0	1 2	_____	1 0
		2 0	_____	4 9
			1 4	正智深谷 高校

第 1 P 両チームマンツーマンディフェンスでスタート。埼玉栄 # 5 のシュートでゲームが動き出す。一方正智も # 8 のシュートで応戦。埼玉栄は # 1 3 , # 4 , # 8 のシュートで優位にゲームを進める。しかし正智も # 8 のシュートが決まりついて行くが埼玉栄のリードは変わらず、1 2 : 5 で終了。

第 2 P 埼玉栄は立ち上がり # 4 のシュートですぐに加点。一方正智も # 1 1 や、# 8 のシュートで応戦。しかし埼玉栄も # 4 のファールを誘う力強いドライブなどで着実に得点を重ねていく。一方の正智も # 1 0 の連続 3 p を皮切りにエンジンが掛かり # 5 や # 6 、# 1 1 、# 8 と得点を伸ばし猛追。埼玉栄も必死の攻撃を見せるが、正智が 3 点差まで詰め寄り 2 8 : 2 5 と接戦で前半終了。

第 3 P 先に得点をしたのは正智。しかしすぐに埼玉栄も得点。その後正智 # 6 の 3 p が決まり同点に迫いつく。その後は膠着状態になり一進一退の攻防が続く中、埼玉栄がわずかに抜け出し 4 0 : 3 5 とリードし終了。

第 4 P 埼玉栄がインサイドで着実に加点し、一時は 1 2 点差まで点差を広げるが正智はここから足を使った攻撃で追い上げを見せる。# 1 1 や # 6 のシュートが決まり点差を 3 点まで縮める。しかし、埼玉栄はここで慌てることなくゲームを優位に進める。最後まで必死の攻撃を見せる正智ではあったが、埼玉栄が 6 0 : 4 9 で逃げ切り勝利した。

(記録者：八潮高校 荒井 浩)